

■特に注意していただきたいこと(安全のために必ずお守りください)

ここに示した事項は、△注意を表示しています。

- △注意：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。
- マークは「指示」
- ⊘マークは「接触禁止」

△注意(CAUTION)

★適合する機器の確認

適合する機器の型式の呼びが合っていることをご確認ください。予想もしない事故が発生するおそれがあります。



★保護具の着用

機器の分解時は、保護具(手袋など)を着用してください。誤ってけがをするおそれがあります。



★高温部に注意

必ずストーブを消火し、ストーブの温度が十分に下がってからおこなってください。やけどのおそれがあります。



★乾電池を取りはずす

必ずストーブの乾電池を取りはずしてからおこなってください。やけどのおそれがあります。



★廃棄するとき

交換したしんは乾燥させてからビニール袋に入れて廃棄してください。廃棄処理の際、予想もしない事故が発生するおそれがあります。灯油の廃棄処分は、灯油をお買い求めになった販売店にご相談ください。



お願い(NOTICE)

★しん取り付け後の確認

- しん上下操作をして、しんの上下が円滑にでき、しんの高さが規定寸法どおり均一にそろっていることを確かめてください。
- 対震自動消火装置を作動させて、しんが確実に下がることを確かめてください。
- 点火操作をして、正常に燃焼することを確認してください。

★変質灯油や不純灯油に注意

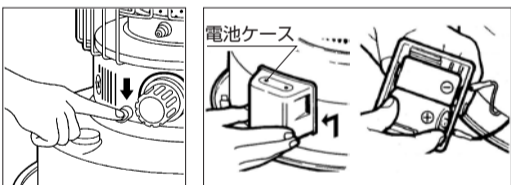
変質した灯油、不純灯油、汚れた灯油、水のまじっている灯油などを使用しないでください。異常燃焼や故障(点火しにくくなる、しんが下がらなくなる、火が消えなくなる、など)の原因となり、しんの寿命が短くなります。

★この耐熱しんの上端部は、特殊な材料の繊維を使用していますので、糸のほつれ程度を切るだけで先端を「はさみ」などで切らないでください。

★しんを交換したときは、給油後、約20分以上待って、しんに灯油が十分に吸い上げられてから点火してください。十分に吸い上げられていない状態で点火しますと、しんを傷めます。

適合する機器の型式表の参照①の機種

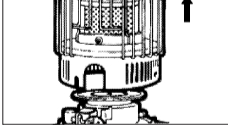
1. 対震自動消火装置を作動させてください。乾電池を電池ケースから取りはずしてください。



2. 本体と油タンクの接合部の止めねじ3本を取りはずしてください。

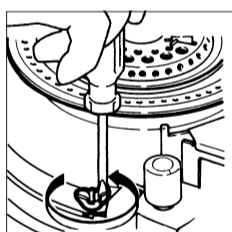
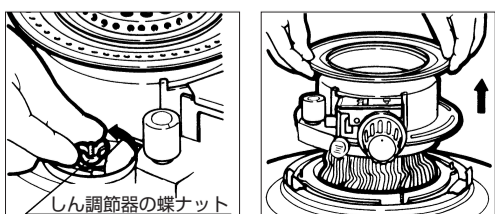


3. 本体をゆっくり持ち上げて体と燃焼筒を取りはずしてください。

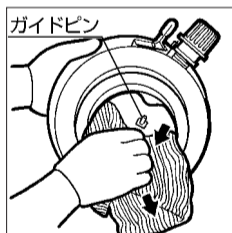


4. 給油口ふたを取りはずし、市販の給油ポンプの吸込側を油タンクに差し込んで、油タンク内の灯油を抜き取ってください。残った灯油は、布切れなどで吸い取ってください。置台のほこり、ごみを取りのぞいてください。

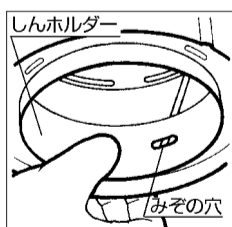
5. しん調節器の蝶ナット4本を取りはずし、しん調節器を上を持ち上げて取りはずしてください。



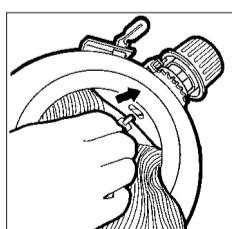
●蝶ナットが回しにくい場合は、マイナスドライバーなどを使って蝶ナット(4箇所)を取りはずしてください。この時、無理に回すとねじ山をつぶすおそれがありますので、ご注意ください。



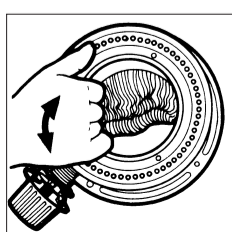
6. 古いしんを四つ折りにするようにしてガイドピン(3箇所)をしん調節器からはずし、しんを下へ引き抜いてください。しんホルダーを変形させないように注意してください。



7. しん調節器内側のみぞの穴と、しんホルダーの穴を合わせてください。



8. 新しいしんを軽く四つ折りにして、しんホルダーの穴と、しん調節器のみぞの穴にしんのガイドピンを3箇所を差し込んでください。しんホルダーを変形させないように注意してください。



9. しんをしん調節器の内側に指で押しつけながら充分になつかせてください。充分になつかせないと、対震自動消火装置が作動した時に、しんが下がらないことがあります。

TOYOTOMI 《純正部品》

TTS2-24

トヨトミ 石油ストーブ 替しん

石油燃焼機器用しん 取扱説明書



トヨ耐熱しん 第24種

●しんの交換をする前に、必ずこの「取扱説明書」を読んで、正しくおこなってください。(しん交換のしかたがわからない場合は、販売店にご相談ください。)

適合する機器の型式表	参照
KR-47A	①
K3-GM1	②

替しんの型式名	トヨ耐熱しん 第24種
種類	普通筒しん
呼び寸法	φ105×3.5
からやきの可否	からやき可

しん品番：4560000680

商品コード	11002307
品名	タイネツシンクミタテ

JIS S 2038
石油燃焼機器用しん

株式会社 トヨトミ

製造 SILVER SIM

株式会社 トヨトミ

〒467-0855 名古屋市長区瑞穂区桃園町5番17号

お客様相談窓口

0120-104-154

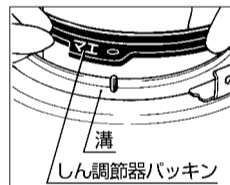
受付時間 平日(月曜～金曜)午前9時～午後5時
※土・日・祝日は除く

FAX 052-857-1220

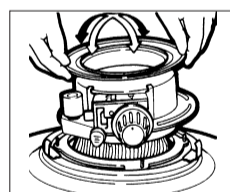
ホームページ <https://www.toyotomi.jp/>

4560000685

P-8



10. しん調節器パッキンが正しくセットされているかご確認ください。パッキンの表示(マエ)位置を合わせて取りつけてください。



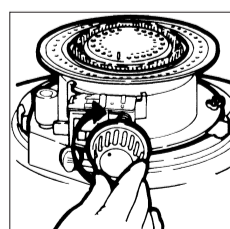
11. しんの下部を広げて、油タンクとしん調節器にしんをなつかせるために、前後左右に動かしながらしん調節器をはめ込んでください。

お願い
しんのほつれや、糸が油タンク外に出ないように注意してください。

12. しん案内筒としん調節器の隙間が全周揃っている所で、しん調節器の蝶ナット4本で均等に締めてください。1箇所のみ締め付けるのではなく、均等に徐々に締めてください。しん調節器の上面としん案内筒の上面(燃焼筒ののる面)の高さが揃っていることをご確認ください。(揃いが悪いと炎が片燃えします。)

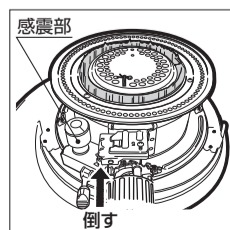


しん調節器の上面... しん案内筒の上面...
しん調節器... しん案内筒

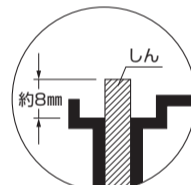


13. しん調節つまみを右(→)に止まるまで回して、しんを上げてください。

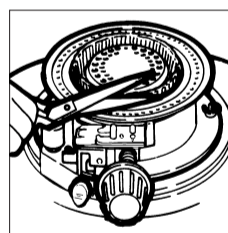
対震自動消火装置を作動させ、しんがスムーズに確実に下がることを2～3回ご確認ください。しんの上下がスムーズでない場合は、しんのなつかせかたが悪いためです。もう一度9項からやりなおしてください。



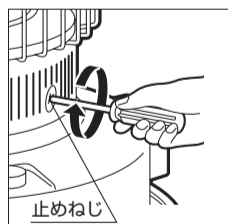
感震部
倒す



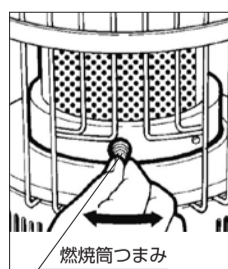
14. しんを最大に上げた時、しんの高さは標準(でるでつまみの①の穴に固定ピンの凸部を入れてください。)で約8mmです。しんが約8mmの高さに均一に揃っていることをご確認ください。



しん上端の糸のほつれ等は、はさみで取り除いてきれいに整理してください。6ページ右下のしん高さ確認ゲージを使用して、しんの高さをご確認ください。



15. 本体をかぶせ、燃焼筒を正しくしん調節器の上ののせて、止めねじ3本で固定してください。



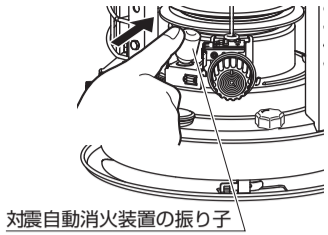
16. 燃焼筒つまみを軽く左右に2～3回動かし、燃焼筒が正しくしん調節器にセットされているか、しんの上ののっていないかを必ず確かめてください。

17. 乾電池を、電池ケースに⊕⊖を正しく合わせて入れてください。乾電池の入れ方が⊕⊖逆ですと、点火できなかったり、点火しにくくなります。

18. 油タンクに給油してから、20分以上待って、しんに灯油が十分に吸い上げられてから点火操作をして、各部がスムーズに動き、正常に燃焼することをご確認ください。

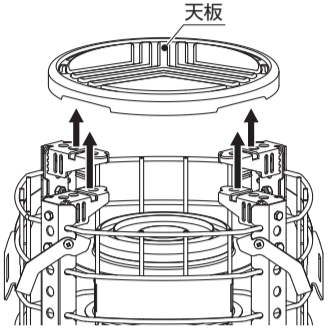
適合する機器の型式表の参照②の機種

1. 対震自動消火装置の振り子を押して、対震自動消火装置を作動させてください。



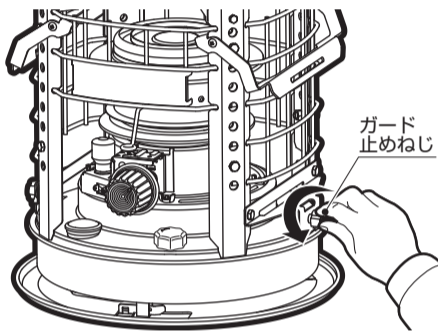
対震自動消火装置の振り子

2. 天板を取りはずしてください。



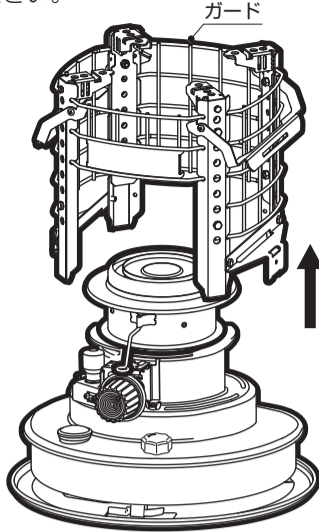
天板

3. ガード止めねじ2本を取りはずしてください。



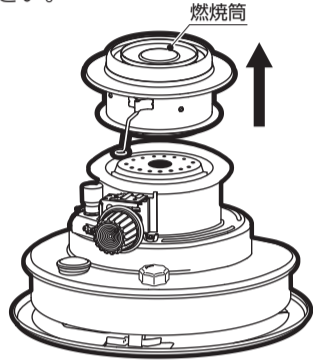
ガード止めねじ

4. ガードを上方へ持ち上げて、取りはずしてください。



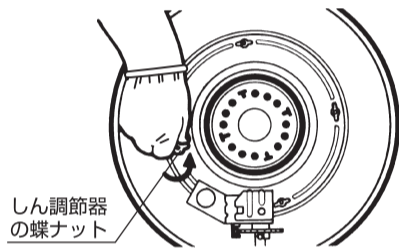
ガード

5. 燃焼筒を上方へ持ち上げて取りはずしてください。



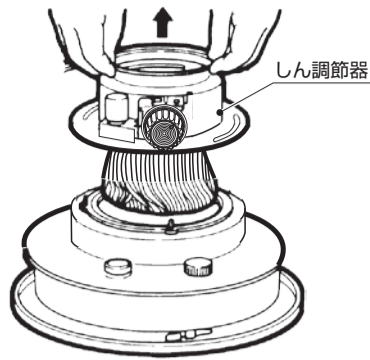
燃焼筒

6. しん調節器の蝶ナット4本を取りはずしてください。蝶ナットが回しにくい場合は、ドライバーなどを使って、回して取りはずしてください。



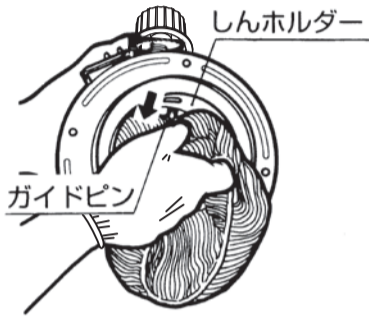
しん調節器の蝶ナット

7. しん調節器を上方へ持ち上げて取りはずしてください。



しん調節器

8. 古いしんを四つ折りにするようにして、しんの3箇所のガイドピンをしん調節器から取りはずし、しんを下へ引き抜いてください。このとき、しんホルダーを変形させないように注意してください。



しんホルダー

ガイドピン

9. しん調節器内側のみぞの穴と、しんホルダーの穴を合わせてください。

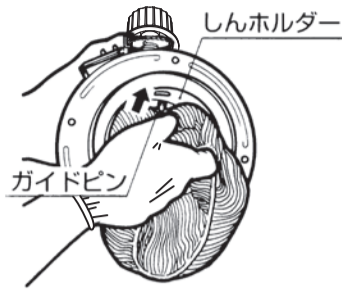


しんホルダー

しん調節器

穴

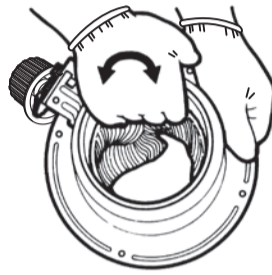
10. 新しいしんを軽く四つ折りにして、しんホルダーの穴としん調節器のみぞの穴に、しんのガイドピンを3箇所差し込んでください。このときしんホルダーを変形させないように注意してください。



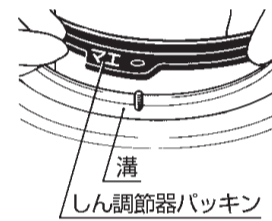
しんホルダー

ガイドピン

11. しんをしん調節器の内側に指でこすりながら、充分になつかせてください。充分になつかせないと、対震自動消火装置が作動したときに、しんが下がらないことがあります。



12. しん調節器パッキングが正しくセットされているかご確認ください。パッキングの表示（マエ）位置を合わせて取りつけてください。



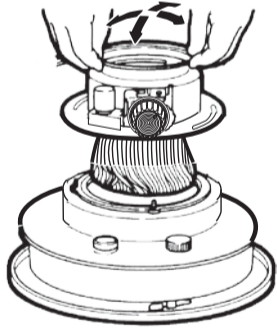
溝

しん調節器パッキング

13. しんの下部を広げて、油タンクとしん調節器にしんをなつかせるため、前後左右に動かしながらはめ込んでください。

お願い

しんのほつれや、糸が油タンクの外に出ないように注意してください。



14. しん案内筒としん調節器の隙間が全周揃っている所で、6項ではずしたしん調節器の蝶ナット4本で均等に締めてください。1箇所のみを締め付けるのではなく、均等に徐々に締めてください。しん調節器の上面としん案内筒の上面（燃焼筒ののる面）の高さが揃っていることを確かめてください。



しん調節器の上面

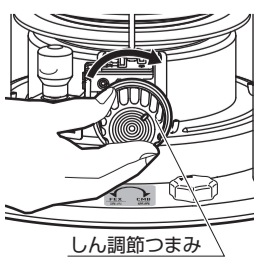
隙間

しん案内筒の上面

しん

しん案内筒

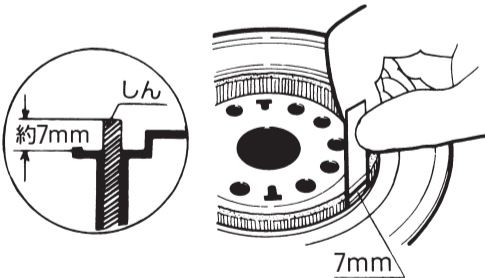
15. しん調節つまみを右（→）に止まるまで回してしんを上げてください。



しん調節つまみ

16. 対震自動消火装置の振り子を押して、対震自動消火装置を作動させ、しんが完全に下がることを2～3回確認してください。しんが完全に下がらないときは、しんのなつかせが悪いからです。もう一度、11項からやり直してください。

17. しんをいっぱい上げたとき、しんの高さは約7mmです。しんの高さが約7mmに均一に揃っていることを確かめてください。6ページの右下のしん高さ確認ゲージを使用して、しんの高さをご確認ください。

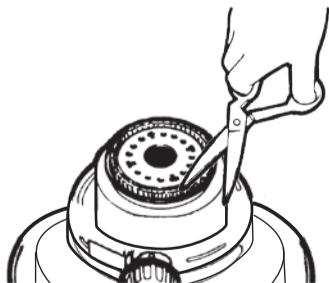


約7mm

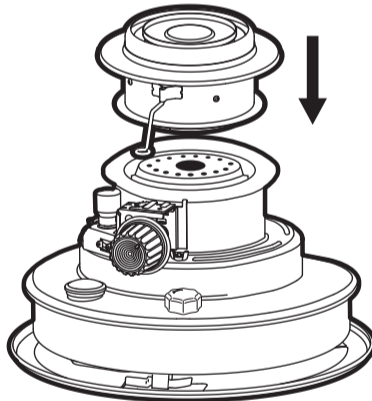
しん

7mm

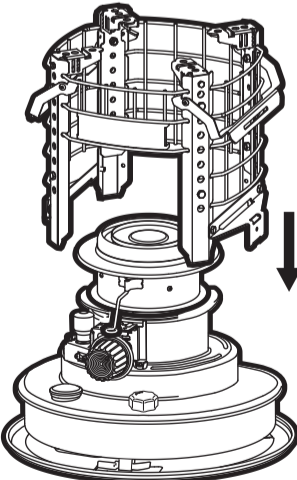
18. しん上端の糸のほつれ等を、はさみで取り除き、きれいに整理してください。



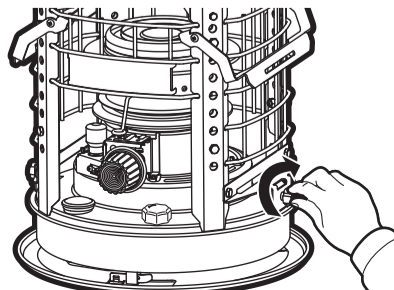
19. 燃焼筒をしん調節器の上に正しくセットしてください。燃焼筒つまみを2～3回動かして、しん調節器に正しくセットされているか、しんの上ののっていないかを確認してください。



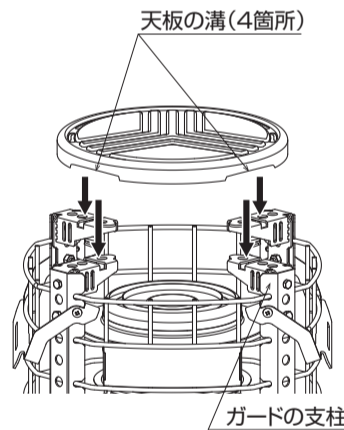
20. ガードを取り付けてください。



21. ガードをガード止めねじ2本で固定してください。



22. 天板の溝がガードの支柱にのるように、天板を取り付けてください。



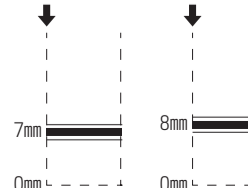
天板の溝(4箇所)

ガードの支柱

23. 油タンクに給油してから20分以上待つて、しんに灯油が十分に吸い上げられてから点火して、各部がスムーズに動き、正常に燃焼することを確認してください。

しん高さ確認ゲージ

しんの高さを計るときは破線の部分で切り取ってください。



7mm

8mm

0mm

0mm